



さんが

第 八 三 号

平成 二 六 年

西 暦 二 〇 一 四 年

秋 彼 岸 九 月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

来年（平成二十七年）から十年間かけて、横浜にある曹洞宗大本山總持寺において、初代住職瑩山（けいざん）禅師と二世住職巖山（がさん）禅師お二人の大遠忌（だいおんき）五十年に一度の、本山の大法要）が行われます。これにちなみ、あらためてお一人ずつご紹介します。

瑩山（けいざん）禅師

どんなに素晴らしいものでも、それが伝えられてこなければ、消えてしまう恐れがあります。仏さまがお説きになったことも同じです。

とくに曹洞宗（禅宗）では、お釈迦さまより代々のお弟子さま方によって、その教えが伝えられてきたことを大切にしています。そのため、お弟子さま方がどのようなお伝えになってきたかを、記録したものが多く残されています。

鎌倉時代に活躍された瑩山禅師も、その代々のお弟子さま方が、どのような生涯を送り、どのような言葉を残されたかを『伝光録（でんこうろく）』という書物になさいました。何をたいせつにして、どんな思いで、仏教が伝えられてきたかを明らかにするためです。

瑩山禅師は、日本で曹洞宗を開かれた道元禅師を初代とする、四代目にあたります。人々の幸せを願って修行に打ち込んでこられました。それだけではその思いは人々に伝わらないとお気づきになります。

仏さまの教えを人々のものとするために、わかりやすい法要に取り組みました。伝統を受け継ぐと同時に、その伝統を時代にどうやって合わせるのかに、心をくだいてこられました。

まさに日本に曹洞宗が根付く基礎をお作りになった方なのです。



秋の団参

ふたたびのゴゴ案内

徳島県祖谷溪方面への旅、いよいよ締め切りが近づいてきました。

川面からの高さ14メートルにおよぶ吊り橋「かずら橋」など、日本三大秘境のひとつを、ドキドキしながら巡ります。参加ご希望の方は、お彼岸の法要までにお申し込みをお願いします。

日時 11月13日(木)～14日(金)
参加費 二八〇〇〇円
宿泊 湯本新祖谷温泉
「ホテルかずら橋」

くわしくはお寺まで
お問い合わせください



秋のお彼岸法要

お中日午前10時からです

9月23日(秋分の日) いつものようにお勤めいたします。
お彼岸にあたり、ご先祖さまに思いを馳せるお時間を、ぜひお寺にてお過ごし下さいませ。



今夏はお盆中に台風の襲来があり、何軒かの方の棚経を急遽お休みさせていただきました。ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

また広島を初めとする、各地の豪雨災害に震撼させられました。ご遺族の無念は察するに余りあります。被災されたみなさまには早く、そして着実な復旧と、身心のお疲れが大きくならないことを願うばかりです



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→